

ごみの減量に努めましょう

～ごみゼロの日～

5月30日は「ごみゼロの日」です。5月は連休もあり、人が集まる機会も多くなります。

一人一人のちょっとした心掛けで、ごみをできる限り出さないよう努めましょう。

☎環境課 ☎22-1314



みんなでエコバックを使いましょう！

スーパーやコンビニで購入している袋をエコバックにしましょう。市内一部店舗では、指定ごみ袋をレジ袋として利用できるようばら売りで販売していますので、ぜひ使ってみてください♪

食品ロスを減らしましょう！

令和3年、日本でまだ食べられるのに廃棄された量は523万トン。世界の食料支援量の1.2倍に相当します。食べきれぬ分を計画して、料理・購入しましょう。

宴会などではタッパーなどを持参して食べきれない分を持ち帰るのも良いですね。



ごみをしっかり分別しましょう！

まだまだ資源ごみとして出せるものが可燃ごみなどに含まれているのが見受けられます。分別すればその分ごみ処理手数料が含まれている指定ごみ袋の使用が減らせ、安く済むメリットもあります。貴重な資源を無駄にしないため、分別をお願いします。

ごみは思い出と一緒に持ち帰り！

お出掛け先などで発生したごみは持ち帰り、分別して出しましょう。



「環境課」です！ よろしくお祈いします！

「市民生活課」の環境対策係、放射能対策係は本年4月から「環境課」になりました。場所は健康センターです。これから隔月で環境に関する豆知識やお知らせなどをお伝えしていきますので、よろしくお祈いします。



知っていますか地域の身近な相談相手 民生委員・児童委員

☎福祉課 ☎22-1400

民生委員・児童委員とは、地域住民の悩みを解決するために活動する無報酬のボランティアです。悩みや不安に関する相談に乗り、必要な支援を受けられるように専門機関へつなぐ役割を担っています。

家庭訪問・安否確認・生活状況の把握をしています

一人暮らしの高齢者や生活上の問題を抱えている人、子育て世代などの家庭に訪問して、日常生活の悩みや心配ごとの相談を受け、近況や急病に備えた連絡先を確認します。

地域をいつも見守っています

地域住民の安心や安全を守るため、担当地区を訪問して、犯罪や虐待の防止につなげています。

また、小・中学校での朝のあいさつ運動や学校行事にも参加します。

福祉サービスの情報を提供し、関係機関につなぎます

相談内容は、子育て、介護、生活費、家庭内の問題、年金、保険、健康づくりなどさまざまです。福祉サービスの情報提供を行い、要望を関係機関や各団体につなぎます。



Q & A

Q. どのように選ばれるのですか？

A. 自治会など地域から選ばれ、県知事の推薦を受けて厚生労働大臣から委嘱されます。任期は3年です。

Q. どんな人が活動していますか？

A. おおむね75歳未満で、その地域の実情をよく知り、社会福祉やボランティア活動に理解のある方が活動しています。

こんな困ったことはありませんか

- 高齢になり、一人暮らしで不安なので話し相手がほしい
- 介護や医療などの福祉サービスを教えてほしい
- 子育てで悩んでいるので相談したい
- 障害があるので、誰かに相談したい
- 近所に児童虐待や高齢者虐待だと思われる家庭があるが、誰に相談したらよいか分からない
- 困りごとを抱えている人を知っているが、自分ではどうすることもできないので、相談できる人を探している

チェック

5月12日は「民生委員・児童委員の日」です

全国民生委員児童委員連合会が提唱している「広げよう 地域に根ざした 思いやり」民生委員・児童委員行動宣言のもと、全国23万人の民生委員・児童委員は、地域の特性を生かした安全で安心なまちづくりを推進します。

地域住民の一員である民生委員・児童委員は、皆さんの最も身近な相談相手です。福祉の専門職や実践者などとともに協働し、皆さんを支援していきます。お気軽にご相談ください。